



Steelcase®

KUROGANE



個人の作業：  
「I」スペース

- 個人作業にはさまざまな内容があり、多様なスペースが必要。
- ある人は、自分の作業に集中するための専用スペースを必要とする。
- また、ある人は移動が多く、「立ち寄り」のスペースしか必要としない。

KUROGANE

Steelcase®



ペアで作業：  
「you+me」スペース

- 労働時間の80%を1人での作業または他の1人との共同作業に費やし、多くは自分のデスクで作業。
- 個人のワークスペースは個人作業とペアでの作業の両方をサポートする必要がある。



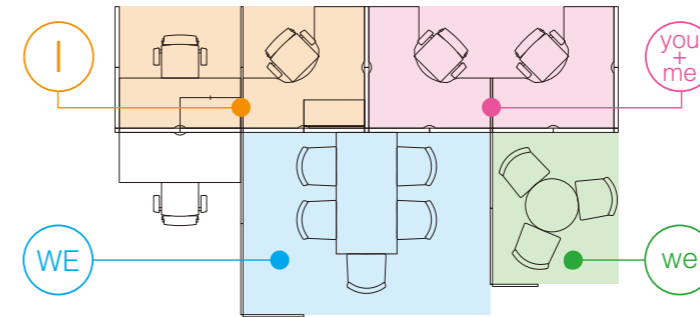
FE-1+FE-3

collaboration x innovation = growth

「I」と、「you+me」と、  
「WE」と、「we」と。

仕事は有機的につながっています。

じつは、業種、地域、および会社の規模に関わらず、人の働き方はあまり変わりません。1人で作業する「I」からコラボレーションや学習を促進し、意思決定やイノベーションを加速する「We」ネットワークへの移行があります。調査では、人びとの仕事への関わり方に「I (1人)」、「you + me (2人)」、「we (少人数グループ)」および「WE (多人数グループ)」の4つのカテゴリーがあることが明らかになりました。



ワークプレイスに求められる課題は、単に少人数および多人数グループ向けのより多彩な共同作業スペースを作り出すだけでなく、個人の「I (1人)」および「you + me (2人)」作業をサポートする個人用スペースを、いかに効率よくデザインし構築するかにかかっています。スチールケースは、私たちの実際の働き方に応じたトータルなワークプレイス環境を創り出すような製品を開発しています。これにより組織を成長させ、最終的に成功に導く「I」から「we」ネットワークへの自然な展開を促すワークスペースを提供します。



多人数グループでの作業：  
「WE」スペース

- モバイルでの作業が多くなり、コラボレーションが重要になるにつれて、大きなグループスペースが必要になる。
- これらのスペースは、快適でインスピレーションを刺激し、メンバー相互の交わりや、テクノロジーおよび自分の仕事へのアクセスをサポートしなければならない。
- グループ内で共同作業するために、さまざまなディスプレイメディアをつかった交流が必要になる。



少人数グループでの作業：  
「we」スペース

- イノベーションやアイデアの実現には、コラボレーションとコミュニケーションが必要。
- 少人数グループでは、テクノロジーを利用したグループメンバー同士の高度な交わりが必要。

